

# DocuCentre C2000 簡単操作ガイド

## マニュアルの種類

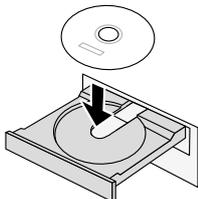
本書の表記 : 冊子 : 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスク : 公式サイト

	簡単操作ガイド (本書)	本機をはじめとお使いになる方を対象に、本機の基本的な操作手順や本機を安全にご使用いただくための注意事項などについて説明しています。手元に置いてご活用ください。
	ユーザーズガイド	プリント/コピー/スキャン/ファクス機能の操作方法や、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、日常の管理方法などについて説明しています。
	サポート情報	プリント/コピー/スキャン/ファクス、トラブル対処、消耗品に関するよくある質問について説明しています。富士ゼロックス公式サイト [サポート] からアクセスできます。

 • PDF マニュアルをご覧になるためには、Adobe® Reader® が必要です。

## 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクでマニュアルを見る

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットする
2. [サポートツール/マニュアル] をクリックする



Macをお使いの場合：[Manuals] > [Devicemanual] > [Japanese] フォルダのindex (index.html) をダブルクリックし、手順4に進む。

3. [製品マニュアル] をクリックする



4. 確認したいマニュアルをクリックする



 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクの有効活用

- 本機の利用者がアクセスできる共有サーバーに、ディスクの内容をコピーして有効利用してください。



# Web から最新情報を得る

## サポート情報を確認する

1. サポートページにアクセスする  
[http://www.fujixerox.co.jp/support/mf/dc\\_2000/](http://www.fujixerox.co.jp/support/mf/dc_2000/)



### QR コードでサポート情報にアクセス

お使いのスマートフォンやタブレット端末で右の QR コードを読み込んで、サポートページにアクセスすることもできます。

サポートページでは、操作手順/エラーコードの確認やマニュアルのダウンロードなどができます。



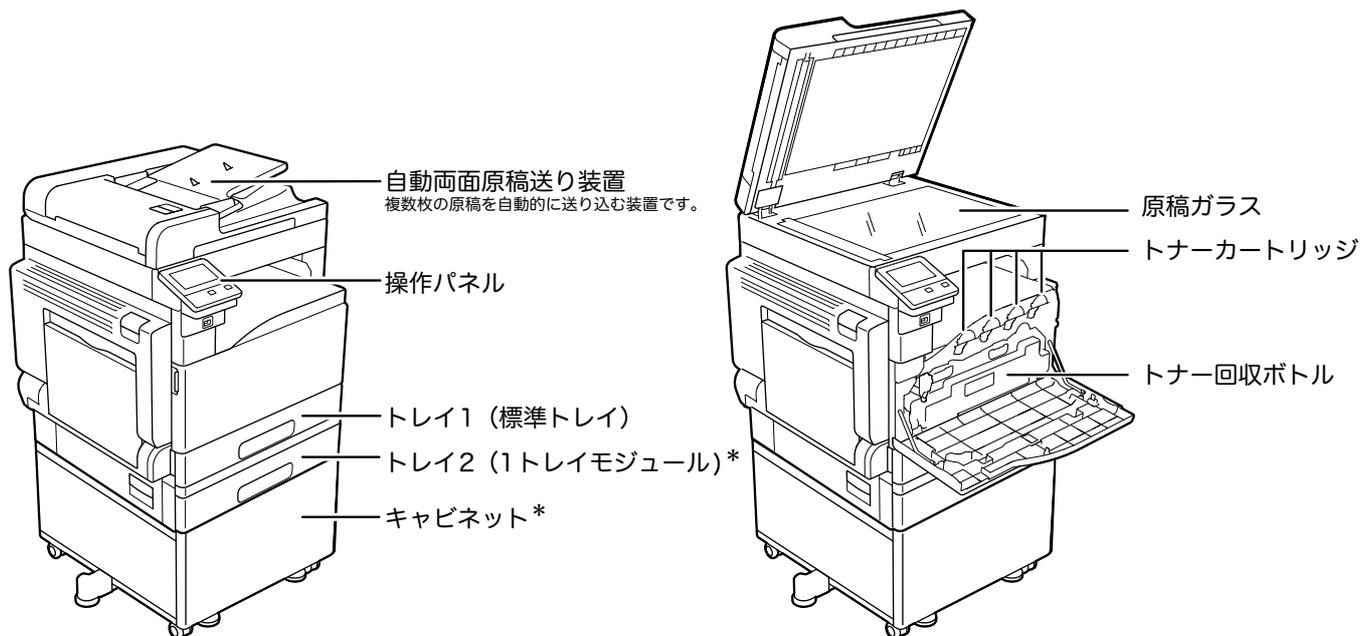
## マニュアルを見る

1. サポートページにアクセスする  
[http://www.fujixerox.co.jp/support/mf/dc\\_2000/](http://www.fujixerox.co.jp/support/mf/dc_2000/)
2. サポートページ内の [取扱説明書] をクリックする
3. 利用条件を確認し、[取扱説明書はこちらからご利用ください。] をクリックする
4. 必要なマニュアルの [ダウンロード] をクリックする

## ソフトウェアをダウンロードする

1. 富士ゼロックスの公式サイトにアクセスする  
<http://www.fujixerox.co.jp/>
2. メニューから [ダウンロード] をクリックする
3. お使いの機種、OS、および必要なソフトウェアを選ぶ
4. [使用許諾条件に同意しダウンロード] をクリックする

# 各部の名称

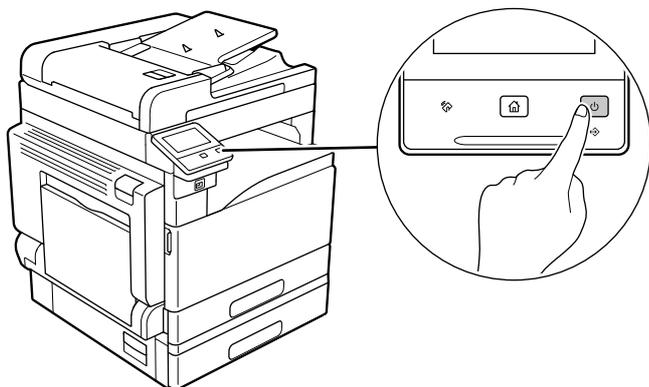


\*お使いの機種によってはオプション

## 電源について

### 電源を入れるとき

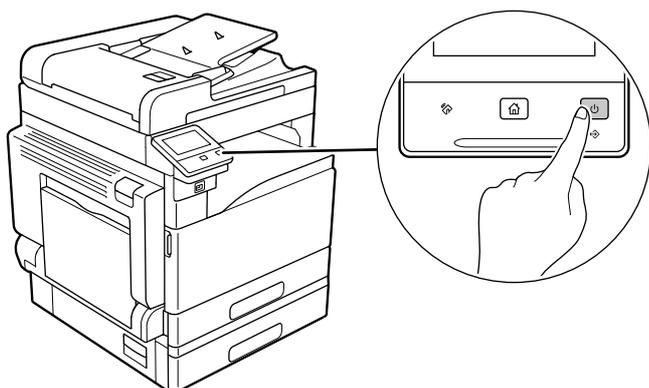
1. 電源/節電 ボタンを押す



### 電源を切るとき

**i** ● 本機の電源を切るとメモリー内の印刷データや蓄積データは消去されます。

1. 電源/節電 ボタンを押す
2. タッチパネルディスプレイの [電源オフ] をタップする



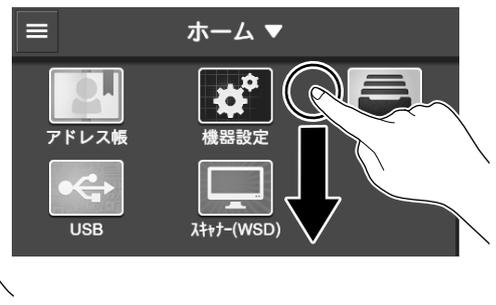
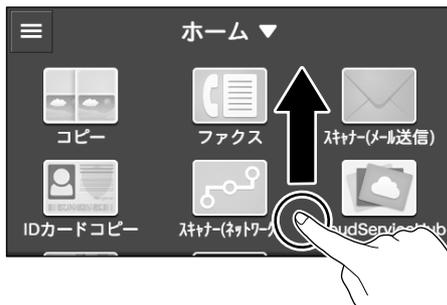
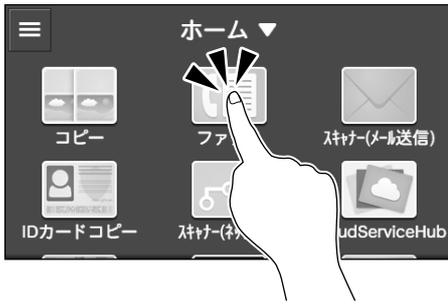
# タッチパネルディスプレイの使い方

## 機能ボタン／メニューを選ぶ

機能ボタンやメニューをタップします。

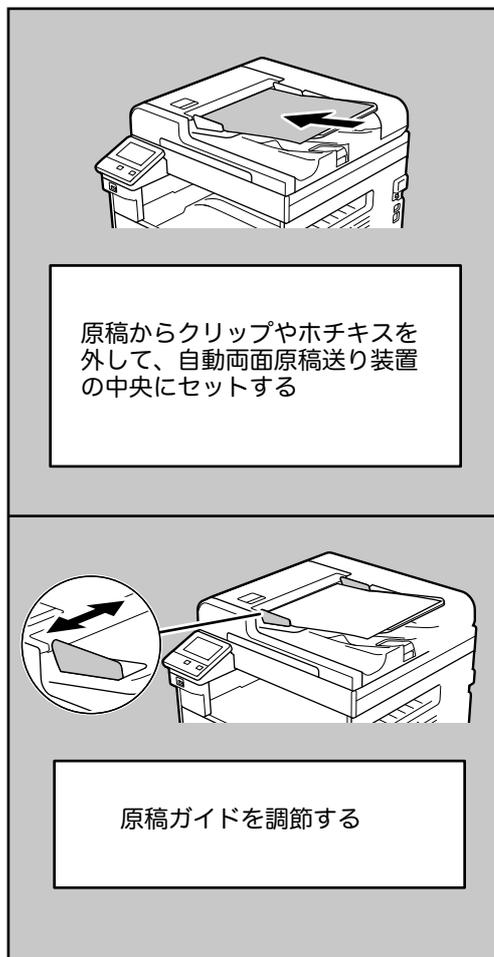
## 画面をスクロールする

上方向または下方向に、画面をフリックまたはスワイプします。

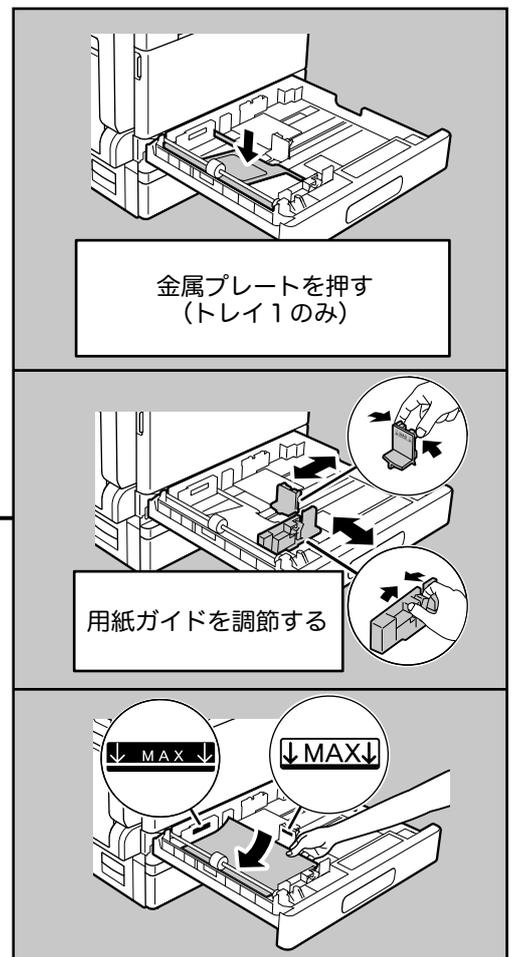


# 原稿／用紙のセット

## 自動両面原稿送り装置



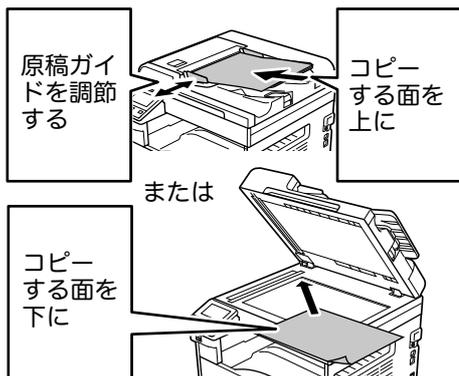
## 用紙トレイ



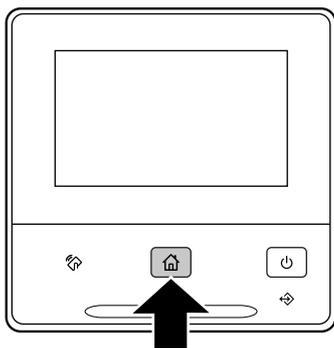
- しわや折りが付いている原稿は、きちんと伸ばしてからセットしてください。
- “MAX”の線より上に用紙をセットしないでください。
- 紙づまりやプリント後の用紙のカールが気になる場合は、用紙の表裏を変えたり、よこ置き／たて置きを変更したりすると改善することがあります。

# コピーのしかた

## 1. 原稿をセットする



## 2. 冫 (ホーム) ボタンを押す



## 3. [コピー] をタップする



## 4. 冫 をタップする



## 5. 必要に応じて設定を変更し、冫 をタップする

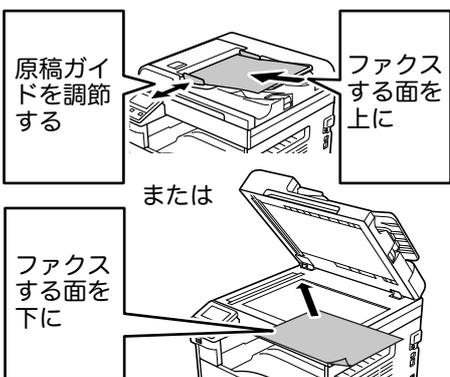


## 6. [部数] と [カラーモード] を設定し、[スタート] をタップする

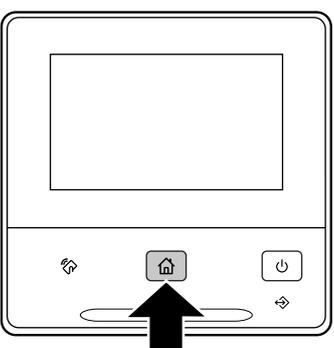


# ファクスのしかた (お使いの機種によってはオプション)

## 1. 原稿をセットする



## 2. 冫 (ホーム) ボタンを押す



## 3. [ファクス] をタップする



## 4. 冫 をタップする



## 5. 必要に応じて設定を変更し、冫 をタップする



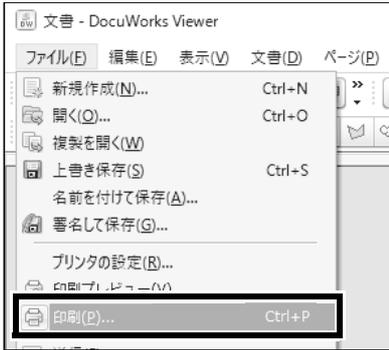
## 6. ファクス番号を入力して、[送信] をタップする



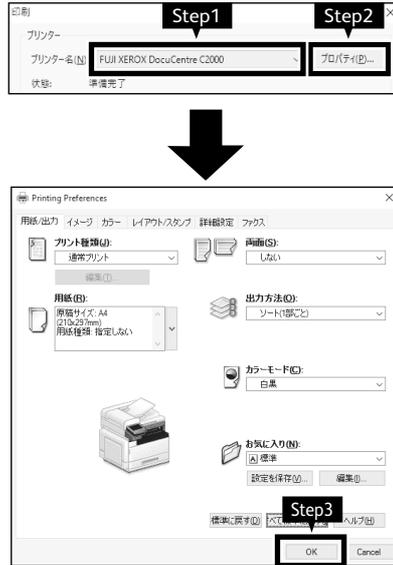
# プリントのしかた

ここでは、Windows® 10を例に手順を説明します。

## 1. コンピューターからプリントを指示する



## 2. 印刷するプリンターとプロパティを設定する



## 3. [OK] をクリックする

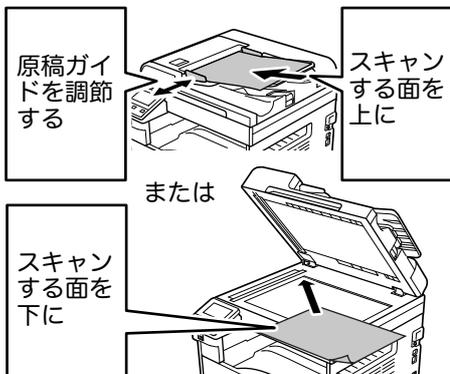


● 必要に応じて、各タブから設定する機能を選びます。

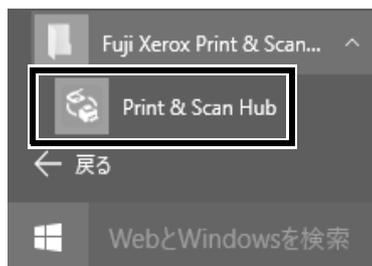
# スキャンのしかた

ここでは、Windows® 10を例に手順を説明します。

## 1. 原稿をセットする



## 2. [スタート] > [Fuji Xerox Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックする



## 3. [機器の一覧] から本機を選び、[スキャン] をクリックする



## 4. 必要に応じて設定を変更する



## 5. [スキャン] をクリックする



## 6. [保存] をクリックする

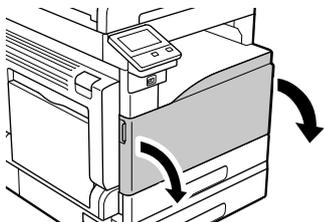


# 消耗品の交換

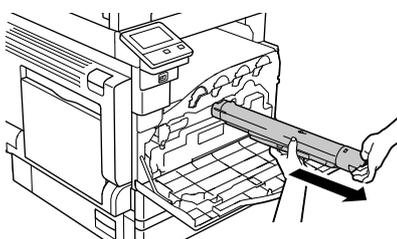
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジやトナー回収ボトルを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジとトナー回収ボトルをご使用ください。

## トナーカートリッジの交換

1. 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける



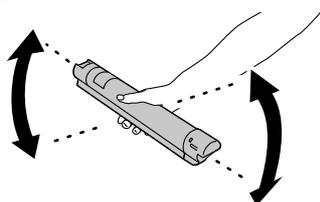
2. トナーカートリッジの取っ手を持ち、引き出す



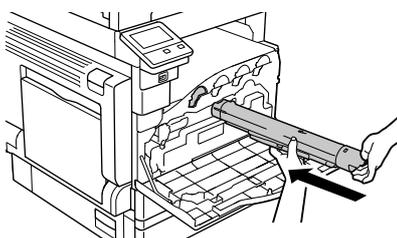
3. 取り出したトナーカートリッジと同じ色の、新しいトナーカートリッジを用意する

- トナーカートリッジはゆっくりと取り出してください。トナーが飛び散ることがあります。
- 使用済みのトナーカートリッジは、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお渡しください。

4. トナーが均等になるように、新しいトナーカートリッジを軽く10回上下左右に振る



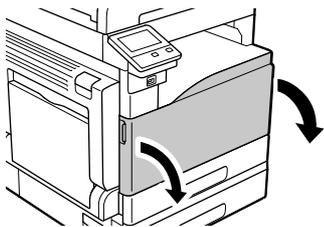
5. トナーカートリッジの矢印(↑)部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込む



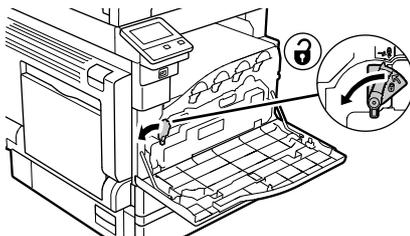
6. フロントカバーを閉じる

## トナー回収ボトルの交換

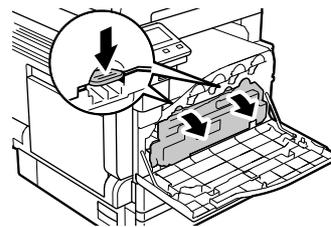
1. 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける



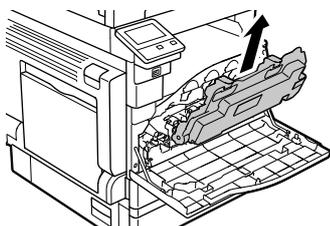
2. ロックレバーを反時計回りに回す



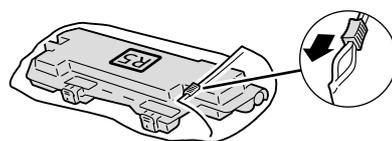
3. トナー回収ボトルのロックを解除する



4. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向ける



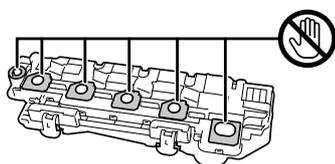
5. 新しいトナー回収ボトルに付属しているビニール袋に、使い終わったトナー回収ボトルを入れる



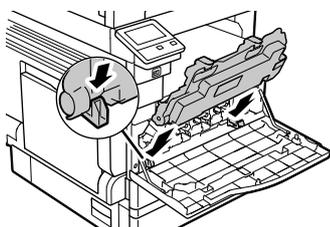
6. 新しいトナー回収ボトルを用意する

- i** ● トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
- トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。

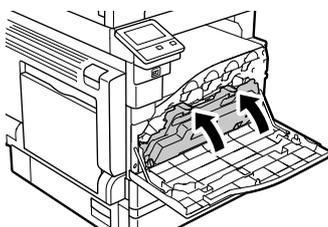
- i** ● 使用済みのトナー回収ボトルを正しく処分する必要があります。使用済みのトナー回収ボトルは、弊社カスタマーコンタクトセンターに返却してください。



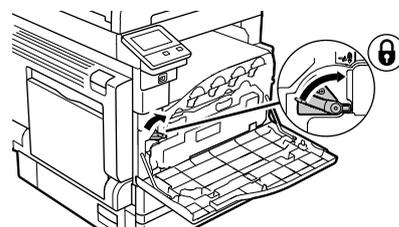
7. トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットする



8. トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込む



9. ロックレバーを時計回りに回す



10. フロントカバーを閉じる

# 安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

## 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。各警告図記号は以下のような意味を表しています。

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。	
○記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。	
●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。	

## 電源およびアース接続時の注意

### 警告

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事(D種)を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
- ・電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があります。)
- ・水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械にはD種以上の接地工事を必ず実施してください。

電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。

電源コードにものを載せないでください。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

### 注意

本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。緊急時に容易にプラグを抜くことができるように本製品はコンセントの近くに設置してください。

機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

連休などで長期間、機械(ファクシミリ機能など)をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。なお電源スイッチを切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。

1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
- ・電源コードにき裂つや擦り傷などがないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

## 設置時の注意

### 警告

⚠ 機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

### 注意

⊘ 以下のような場所には機械を設置しないでください。  
 ・発熱器具に近い場所  
 ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く  
 ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所  
 ・直射日光の当たる場所  
 ・調理台や加湿器のそばなど

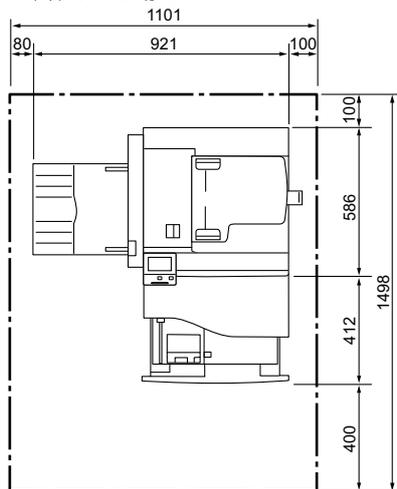
⊘ 機械の包装に使用している袋/シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。

⚠ 機械は、付属製品を含めた総質量85 kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

⚠ 機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

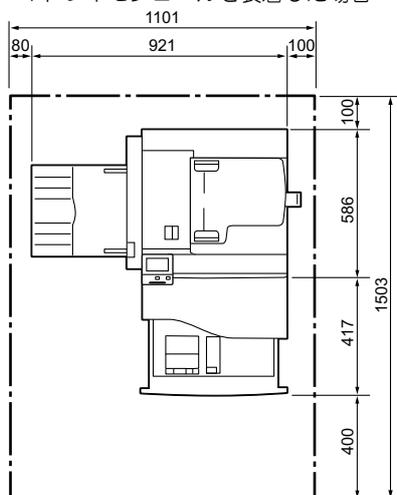
機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

・本体のみの場合



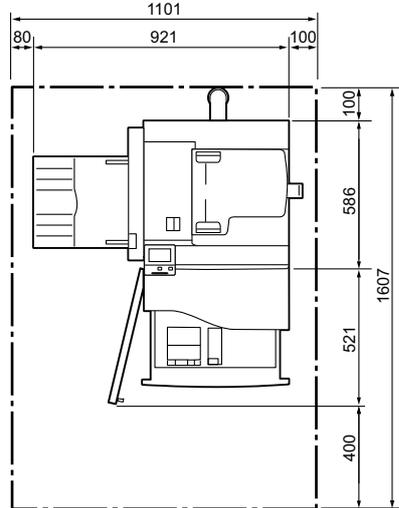
単位：mm

・1トレイモジュールを装着した場合



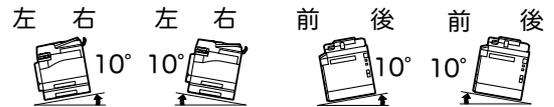
単位：mm

・1トレイモジュールとキャビネットを装着した場合



単位：mm

⚠ 機械を10度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



⚠ 機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

⚠ 機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

### その他

⚠ 本機器の使用環境は次のとおりです。  
 温度：10～32℃  
 湿度：15～85%  
 ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

## 機械使用上の注意

### 警告

⊘ 取扱説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

⊘ この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

⊘ 次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- ・異常な音やにおいがするとき
- ・電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・機械の内部に水が入ったとき
- ・機械が水をかぶったとき
- ・機械の部品に損傷があったとき

⊘ 機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・クリップやホチキスの針などの金属類
- ・重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

-  電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。
-  機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。
-  トレーを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。
-  付属のメディア（CD-ROM、DVD等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音量により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。
-  複数の用紙トレイを同時に引き出すと、不意に機械が押された場合に機器全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出して使用して下さい。

### 注意

-  機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。
-  機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。
-  機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
-  書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。
-  機械を移動するときは、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
-  換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

## 消耗品取り扱い上の注意

### 警告

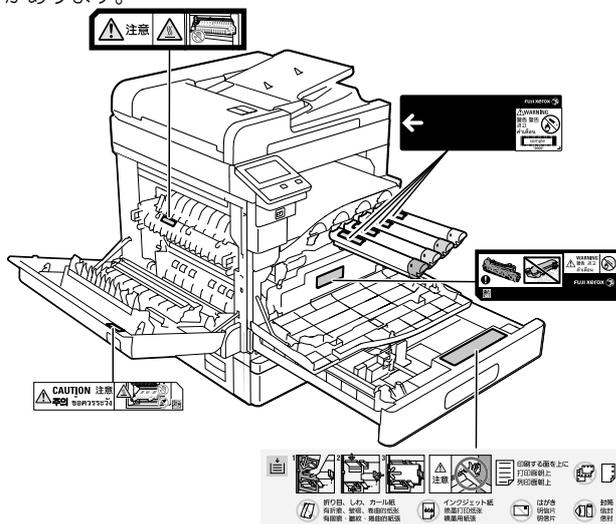
-  消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。
-  こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
-  トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があります。火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
-  トナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

### 注意

-  ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
-  ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
-  次の事項に従って、応急処置をしてください。
  - ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
  - ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
  - ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

## 警告および注意ラベルの貼り付け位置

-  機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



## 規制について

### 受信障害について

### 注意

-  ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われる場合は、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることで、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
  - ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
  - ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
  - ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
  - ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

## SDS(安全データシート)の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品のSDSを弊社ホームページにて公開しています。

## 環境について

- ・回収したトナーカートリッジ、トナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・不要となったトナーカートリッジ、トナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジ、トナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。
- ・粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物(TVOC)の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しておりますDocuCentre C2000トナーを使用し、試験方法Blue Angel RAL UZ-205:2017の付録S-Mに基づき試験を実施しました。)
- ・機器の稼働音が気になる場合は、壁や仕切り等で区切られた場所に設置されることをお勧めします。(表示A特性音響パワーレベルLWAdが63dBを超える場合は音が気になると言われています。本商品の稼働音を数値で確認されたい場合は、弊社までお問い合わせください。)

## サポートについて

弊社は本製品の補修用性能部品(機械の機能を維持するために必要な部品)を機械本体の製造終了後7年間保有しています。

## 法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
  - ・紙幣(外国紙幣を含む)、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。  
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
  - ・株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
  - ・各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
  - ・契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
  - ・推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
  - ・役所または公務員の印影、署名、記名。
  - ・私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合※を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
  - (1) 複製  
紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
  - (2) 改変  
紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを削除、書き換え、切り貼りすることなど。
  - (3) 送信  
電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

※法律に定める例外にあたる場合の例

- ・個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とし複製する場合。
- ・国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- ・学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。  
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

## 無線 LAN 製品使用時のセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・通信内容を盗み見られる  
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・不正に侵入される  
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。